

おおくす



予測困難な時代

校長 野田 恵美

1月16日の土曜、いえ、日曜日になろうかという真夜中に突然の緊急速報が流れました。トンガ王国付近の海底火山が噴火し、8000キロも離れた日本にまで到達するほどの津波が起きるというものでした。日本でも避難をしなければならない場所があり、多くの地域に津波注意報が出ていました。「にげて」という大きな文字が出て、緊張が走りました。日曜日のテレビ画面の日本地図に赤や黄色の警報、注意報のエリアが示されていました。日本の注意報は昼過ぎに解除されましたが、日本の一部や現地では被害が出ていますので、一刻もはやい復旧を祈るばかりです。

翌日の月曜、ある先生が「トンガ王国は尾張旭市に縁があるのですよ」と教えてくれました。聞けば、2005年に愛知県で開催された「愛・地球博」の取組の一つに一市町村一国フレンドシップ事業があり、尾張旭市はトンガ王国とフレンドシップを結んでいたというのです。事業の目的として、世界各国から博覧会に集う人々を万博開催国として温かく迎え、地域ぐるみで博覧会を盛り上げる、というものです。当時、私は安城市の小学校に勤めており、主にデンマーク王国と交流をしていました。子供たちと一緒にモリコロパークまで「愛・地球博」の見学に行ったのを覚えています。

尾張旭市が当時どんな交流をしていたのか調べてみると、2005年以降も何度かトンガ王国の大使が市を訪問したり、各種団体と交流をしたりしていました。その中に、渋川小学校も入っていたのです。このたよりを読んでいる保護者や地域の皆様の中にも詳しく知っている方がいるかもしれません。

大変な状況にあるトンガの皆さんに何かできないものかと思わずにはられません。しかし、今は被害が大きすぎて、様々な物資等の受け入れさえも困難だということです。日本の自衛隊がようやく水や支援物資をオーストラリアまで運び始めた段階だと報道されていました。



2005年7月 当時の5・6年生が交流をしている時の様子

このトンガ政府は、東日本大震災のときに日本に義援金や食料、子供たちへ励ましのメッセージなども送ってくれたそうです。そのため、日本は今回、いち早くトンガに支援物資を送りたいと考えたようです。尾張旭市では26日から募金を受け付けるそうです。私自身も今後、渋川小の子供たちと「私たちにできること」を一緒に考えていきたいと思っています。

学習指導要領に「予測困難な時代を生き抜く」という言葉が出てきます。自分で見付けた課題を、どのようにしたら解決できるかを自分で考え、判断して行動する子を育てていこう、ということがねらいになっています。近年、様々な自然災害や感染症など、これまで思ってもみなかった事態が毎年起こっています。自ら考え、行動できる力を伸ばしていけるよう私たちも日々の教育活動に取り組んでいきます。今後も変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

【 なわとび週間、ひだまり読書週間 】

3学期がはじまり、寒さが一層厳しくなってきました。そんな中、体づくりとして「なわとび週間」が行われました。2限後の長い休み時間になると軽快な音楽が流れ、なわとびチャレンジが始まります。割り当てられた場所で、各自の目標を立てて、短なわとびの技に挑戦します。決められた曜日に学年別で大なわとびにも挑戦します。得意な子がなわをとぶタイミングを教えてあげたり、みんなでとべたことを喜んだり、と冷たい風に負けない心温まる場面が数多く見られました。

また、17日からは、ひだまり読書週間が始まりました。朝の時間を読書タイムとし、優しいBGMが流れる中、それぞれお気に入りの本を読みます。20日は「シャッフル読み聞かせ」でした。これは、担任の先生とは違った先生がクラスに来て、読み聞かせをしてくれるという企画です。子どもたちは誰が来るのかワクワク。そして、本を読んでもらってさらにワクワク。先生たちもどんな本を選ぼうか、どのように読み聞かせをしようかとワクワク。みんなの気持ちが温くなる読書週間です。



【 2年生 情報モラルについて学ぼう 】

一人一台端末となり、低学年のうちから情報モラルを学び、しっかりと身に付けていく必要があります。「スマートフォン、タブレット、ゲーム機のマナー」について2年生が学びました。タブレットやゲーム機はつい夢中になってしまい、周囲の迷惑を考えられなくなることがあります。夢中になる主人公の姿を動画で見て、どうすれば良かったかについて学級で話し合いました。「使う時間を決める」「人の迷惑を考える」「外ではあまり使わない」「周りをよく見て使う」など、それぞれがしっかりと考えることができました。考えたことを実際に行動に移してこそ、本当の力です。さまざまな場面で学んだことを生かしていけるとよいですね。



動画を見る子供たち

【 干支の寅を探してみよう 地域の方からの贈り物 第2弾 】

3学期当初のHPで、地域の方からの贈り物、として木材を糸鋸で切り抜いた干支の置物を紹介させていただきました。その後、さらに第2弾の干支の置物を数セットいただきましたので、学校の様々なところに飾り、24日の学校集会で子どもたちに「干支の寅を探してみてください」という話をしました。さすが、渋川の子どもたちです。すぐに、「見付けたよ」の報告が数多くありました。学校にお寄りの際は、ぜひ見付けてみてください。



この親子の寅はどこにいるかな？

■ 2月10日(木) 学校公開中止のお知らせ ■

1月21日(金)の保護者メールでもお知らせしましたが、愛知県まん延防止等重点措置に伴い、学校公開を中止させていただきます。子供たちの成長の様子を参観いただけないのは大変残念ですが、現在の市内感染状況も鑑み、判断いたしました。ご理解をいただけますようお願いいたします。



感染予防の基本は正しい手洗いとうがい、こまめな換気です。そして何よりも元気な体づくりが大切です。睡眠、栄養、休養をしっかりととって、免疫力を高めましょう。感染のリスクの高い教育活動を見合わせています。まん延防止の期間中は部活動も中止とします。下校後や休日の過ごし方についてもご留意ください。